

提出された意見等及び市の考え方(案)

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額の適正化(案)について

通番	項目	意見の概要		市の考え方
			意見の理由	
1	適正化案	適正化(案)に賛成	利用者負担額の増額分が、待機児童の解消や保育の質の向上に充てられるのであれば構わない。	今後とも、待機児童の解消、保育の質の向上に努めてまいります。
2	適正化案		行政サービスの利用者が、適正な金額の範囲内で、対価として一定の負担をするのは当然のことだと思う。	
3	適正化案	適正化(案)に反対(無償化すべきである。引き下げるべきである。現状維持とすべきである。)	国も保育料の無償化を実現する方向で動き出している。	今回の利用者負担額の見直しについては、値上げではなく、適正化であると考えております。本市では、昭和56年度に開催された茨木市保育料問題懇談会において、茨木市保育所保育料を国の徴収基準額の75%とする事は妥当であるとの答申を得た後、茨木市の保育所保育料については、前年度の国の徴収基準額の平均75%としています。この負担割合については、直近では、平成21年度に開催された茨木市保育所保育料に関する懇談会において、妥当であるとの答申を得ており、平成26年度に開催された茨木市こども育成支援会議においても、この考え方について諮り、平成27年度以降、幼稚園・保育所ともにこの考え方を適用し、条例で定めています。しかしながら、規則の設定方法
4	適正化案		保育料が今後3～5歳児が無償化が始まると言われている中、何故このタイミングで保育所保育料を値上げするのか。	
5	適正化案		2020年から保育の無償化が打ち出され、私たち働きながら子育てする者としては本当にありがたいことだと思う。なのに何故その直前に保育料値上げなのか。	
6	適正化案		国ですら保育料無償化、選挙の為にしようが無償化としている。茨木市が値上げするなど国の施策に逆行する。	
7	適正化案		子育て中の保育・医療は国でさえ無償化を出しているのに逆行して値上げとはとんでもない。	
8	適正化案		12月8日の閣議決定で幼児教育・保育の無償化が打ち出された。茨木市の値上げは逆行している。	
9	適正化案		国の教育や保育の無償化や負担の軽減の動きに矛盾する。	
10	適正化案		国の方で、幼児教育・保育の無償化が打ち出され、2019年4月から一部実施、2020年4月から前面実施となる。市が2018年9月に値上げしたとしても、わずか半年後には無償化が始まる。市のやり方は内容も時期もまったく的を外れ。	
11	適正化案		2018年9月に市が値上げしても、2019年には国の施策が始まる。無駄な労力とお金をかける必要はない。市民の税金を効率よく使い、安心して子育てのできる茨木市にするのが市長と市役所の使命だと思う。	
12	適正化案		子育て支援が、安倍政権の施策より後ろ向きな姿勢を改めていただくことを切に願う。	
13	適正化案		国は数年後に無償化を予定しており、このタイミングで3～5歳児を迎える子供を持つ親だけ無償化の恩恵も受けられない上に値上げまでされ、不公平感が余計に増大する。	
14	適正化案		無償化される前に利益を得ようとしていると取られても仕方がないと思う。これでは何の為に子供を預けて働くのかわからない。	

提出された意見等及び市の考え方(案)

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額の適正化(案)について

通番	項目	意見の概要		市の考え方
			意見の理由	
15	適正化案	適正化(案)に反対(無償化すべきである。引き下げるべきである。現状維持とすべきである。)	国が6ヶ月後に無償化と云っているのになぜ6ヶ月間だけに値上げをするのか。その人件費や雑費を考えると茨木市の政策はおかしい。	の理由により、現在、実際には、利用者に負担いただいている額は国徴収基準額の70%程度となっている状況であり、国徴収基準額の5%に相当する額を公費で負担している状況です。この額については受益者負担の観点からサービスを利用されている方にご負担いただくことが適正であると考え、実際の利用者に負担いただく額が75%となるよう適性化を図るものです。 なお、国から2020年度までに0～2歳児クラス(低所得世帯)及び3～5歳児クラスの無償化が示されました。国の無償化が実施された場合、茨木市も無償化を実施することとなりますが、今回の適正化(案)は、実態と乖離している現行利用者負担額の設定方法を改めるためのものであると考えております。
16	適正化案		国が2020年4月から幼保無償化を打ち出した。何か、世界、国の大きな流れに取り残された考え方の茨木市。無償化と今すぐ言わないが、保育の利用者負担額の適正化と言うなら、これこそ時代に合うべき。	
17	適正化案		保育料無償化は国も言っていることではありませんか。年齢に関係なく、認可外も当然対象でしょう。	
18	適正化案		国も府も保育料を無償化にと言っているので期待していたのにその真逆の方向が出されるとは思いもよらなかった。	
19	適正化案		審議会で委員さんから無償化の動きをみてからでも良いのでは？事務的にも大変になるでしょう？と意見もでていた。半年だけの値上げは意味があるのか。もっと見通しを持って取り組むべき。	
20	適正化案		国の無償化の動きを待つべき。	
21	適正化案		今後の無償化の流れと経過を見た上で保育料を上げるのは早いのではないかと思う。	
22	適正化案		「子育てしやすい街・茨木」の理念に反している。	
23	適正化案		行政には、大局的・長期的視点が大切で、その事が市民の心情の安定・平安をもたらす。	
24	適正化案		現状維持がなにより大切。	
25	適正化案		小児急病診療所もなく、保育料の高い茨木市に若い人達が住みたいとは思わない。	
26	適正化案		地方自治の狙いは、大型開発で街のインフラを豪華にすることよりも、市民の暮らし、福祉、安全を図ることの方が先であるべきだと思う。	
27	適正化案		茨木市は、立地条件も良く、財政的には府下でも上位に位置づいている。その条件に立てば、市長と市民が互いにレスペクトの関係に立てる市政が不可能ではない。若い子供を育てる親たちが市政の恩恵を自慢に出来る市にすることは市長の哲学がしっかりしていれば可能。	
28	適正化案	長年、茨木市は、国の指導を遵守した姿勢を続けてきている。国からの補助金を減らされないためという理由かもしれないが、それでは守りの市政、進んだ近隣他市からは、市民サービスがいつも遅れた状態に陥ってしまう。		

提出された意見等及び市の考え方(案)

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額の適正化(案)について

通番	項目	意見の概要		市の考え方
			意見の理由	
29	適正化案	適正化(案)に反対(無償化すべきである。引き下げるべきである。現状維持とすべきである。)	高すぎる保育料は働く市民を苦しめている。茨木市の豊かな発展の足を引っ張るものである。税金は必要などころ、子供の未来を、市民の生活を豊かにすることに使ってほしい。	
30	適正化案		子ども達にこそ税金を使って欲しい。	
31	適正化案		茨木市は子どもにさいているお金が少ないと思うので、値上げするなら根拠を示してほしい。	
32	適正化案		待機児童が多く、保育の要望が高い茨木市だからこそ、市民を支える対策(保育料値下げ)が必要。	
33	適正化案		子育てしながら働きやすい環境を目指してるはずなのに、負担額が大きくなるなんて問題外。	
34	適正化案		なぜ子育て世帯の負担をふやすのか?もっと違うところをけずるべき。	
35	適正化案		日本の保育・幼児教育に関わる公費の支出は先進国で最低レベル。私費負担の割合が多い。自治体が決められる保育料も元になる国が定める基準が高すぎる。茨木市は国へ働きかけると共に、保育料の値上げなどはしないで、手厚い子育て支援に取り組む「茨木市」としての姿勢をみせてほしい。	
36	適正化案		福祉→保育所・施設でも全ての保育に関わる施設は無償にすべき。	
37	適正化案		日本の国の未来を考える時、子ども達にお金を使わなければ国はほろぶ。子どもの成長を考え、保育・教育はすべて無償化、医療、福祉の充実こそが国の発展につながる。	
38	適正化案		子どもの教育は憲法に照らしても義務教育まではすべて国の責任で負うべき。	
39	適正化案		子どもは未来の日本を作る宝。税金は子ども達にこそ率先して使うべき。人にお金をかけず土地開発などに税金をまわす茨木市のやり方がまんならない。	
40	適正化案		マンションの建設が進むこの茨木市、市として子育て応援していきましょう。	
41	適正化案		予算は他に無駄なものを見直して優先順位を子育てに上げてほしい。	
42	適正化案		国の基準に合わせる必要性がそこまであるのか納得いかない。こども医療費助成も各自治体で異なるものが設定され、各々の財政でやりくりしているはず。	
43	適正化案	他市区町村は医療費助成が高校まで保障されているところもあり、茨木市は平成30年からようやく中学まで対象になるので、そういった対応が遅い。その割には保育料を引き上げるのは納得できない。		

提出された意見等及び市の考え方(案)

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額の適正化(案)について

通番	項目	意見の概要		市の考え方
			意見の理由	
44	適正化案	適正化(案)に反対(無償化すべきである。引き下げるべきである。現状維持とすべきである。)	駅前のイルミネーションにお金をかけすぎていると思う。保育や介護など福祉のお金にまわしてほしい。人員確保のための手立ても考えてほしい。保育士の給料のベースアップを考えてほしい。	
45	適正化案		子どもが小さいうちは病気などで休まなくてはいけない日も多く、負担増は重い。	
46	適正化案		給与の多くを利用者負担額が占めている。	
47	適正化案		値上げにより総額で9,200万円の負担増となり、影響延べ児童数は約4割の22,000人以上の市民に家計への負担増となる。	
48	適正化案		夫婦共働きの中で保育料の値上りはこたえる。	
49	適正化案		家のローンがある。	
50	適正化案		保育料が上がり、生活を圧迫している。給料の上昇が保育料upについていけない。これでは子育てにやさしい市とは言えない。	
51	適正化案		多子世帯は特に負担が大きい。	
52	適正化案		若い子育て世代は非正規雇用者も多いので保育料の値上げは生活苦を増加す	
53	適正化案		2年間待機児童で高い保育料の無認可に通いながら、3歳の時やっと保育園へ入園へ出来た。現在、両親共にアルバイトで生活している中、わずかでも保育料が上がり、負担増となると厳しい。	
54	適正化案		生活の実態として厳しい中で、行政の義務である保育の提供の値上げに反対。	
55	適正化案		困る人間はどうなるのか。	
56	適正化案		何のために働いているのかよくわからなくなる。	
57	適正化案		消費税も上がるのに保育料、学童上げられたらいつまでたっても生活水準があがらない。	
58	適正化案		保育料はずっと上がり続けているようなので、これ以上のアップは厳しい。	
59	適正化案		保育料を払うために働いているわけではない。	
60	適正化案		新システムになり、保育料が上がり、また値上がりは困る。	
61	適正化案	保育料が上がるとお母さんお父さんの負担が増え、いきいきと保育ができず、結果、子供にしわよせがくる。		
62	適正化案	保育料が上がると子育てをするお父さんお母さんへの負担が大きくなる。		
63	適正化案	家計に負担が大きい。		
64	適正化案	1人親なので家計がくるしい。		
65	適正化案	今でも高いので、負担を減らしてほしい。		

提出された意見等及び市の考え方(案)

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額の適正化(案)について

通番	項目	意見の概要		市の考え方
			意見の理由	
66	適正化案	適正化(案)に反対(無償化すべきである。引き下げるべきである。現状維持とすべきである。)	非正規で働く保護者が多い中、今でも保育料は大きな負担になってしまう。	
67	適正化案		全くの所、保護者の負担を考えていない。	
68	適正化案		現在の暮らしの不安定さ、将来の消費税の値上げを考えると断固許せない。	
69	適正化案		若い皆さんはパートや派遣で働いている方も多く、年収が200万円にも満たない方が多く、今でも結婚しない、子どもがいない皆さんが多く、今日の少子高齢化につながっている。保育料の値上げはさらに少子化を進めるものである。	
70	適正化案		現在、2歳児を保育所に預けて働いているが、来年は保育料が少し安くなると思っていたのに値上げとは！	
71	適正化案		子育て世代は本当にお金がかかる。次世代につなぐ茨木市にするために保育料値上げはありえない。	
72	適正化案		利用者負担額がまた上がるということでもますます保護者はきびしい生活になる。	
73	適正化案		月々の増加分が3,000円程だとしても、年間で見ると36,000円程の負担増は正直きびしい。	
74	適正化案		他の市と比べても茨木市の医療助成が遅れていたり、保育料が今でも高いのにさらに上がると生活的にも困る。	
75	適正化案		給料からどんどんひかれるのにもう限界。	
76	適正化案		子育てにもお金がかかるため、家族の負担を考えてほしい。	
77	適正化案		保育料の割合が大きすぎる。	
78	適正化案		茨木市の財政は黒字を続けている。	
79	適正化案		広報でも前年度黒字と発表される中、理由がわからない。	
80	適正化案		財政豊かな茨木市は市民の生活を第一に考えてほしい。	
81	適正化案		無償化までの少しの間でもお金をもらわないといけないほど茨木市の財政がひっ迫しているとは思えない。	
82	適正化案	茨木市は財政は黒字で留保も多くしていると聞いている。何故それをこどものために使えないのかわからない。		
83	適正化案	茨木の財政は黒字なのに保育料の値上げは許せない。		
84	適正化案	市には200億を超えるタメ込み金があると聞いている。そのような中での値上げは許せない。		

提出された意見等及び市の考え方(案)

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額の適正化(案)について

通番	項目	意見の概要		市の考え方
			意見の理由	
85	適正化案	適正化(案)に反対(無償化すべきである。引き下げるべきである。現状維持とすべきである。)	聞くところによると、ため込みの基金は200億円をこえているとのこと。茨木市は、府下行政区のなかでも、財政力は豊かな自治体になっていると思う。その一部でも使って、保育料を引き下げてほしい。最低でも、値上げだけは絶対にしないでほしい。	
86	適正化案		国、地方も保育料は無償化の流れであり北摂他市の中でも高い保育料水準を引き下げるべき。	
87	適正化案		現在の経済情勢からみて北摂地域の中で高い保育料水準にある茨木市ではむしろ引き下げるべき。	
88	適正化案		北摂地域でも高槻市や吹田市や摂津市は国価格の70%である。	
89	適正化案		保育料が高すぎる。保育料のために仕事をしているのでしょうか？	
90	適正化案		ただでさえ高い保育料をこれ以上高くする必要性がどこにあるのか。	
91	適正化案		茨木市は、北摂の中でも高い保育料なので75%の保育料水準ではなく、70%、65%に下げてほしい。	
92	適正化案		現在の保育料も高額な負担と考えている世帯が多い。	
93	適正化案		現行の保育料でさえも決して安いとは言えない。	
94	適正化案		高槻市・吹田市・摂津市は国基準の70%、箕面市は73.5%、豊中市75%、池田市76%(党議員団調べ)。茨木市は、国基準の75%ありきで保育料を議論するのではなく、現下の経済情勢からも「75%」を「70%」や「60%」への引き下げを検討するべき。	
95	適正化案		北摂他市とくらべてみても茨木市は高いと思わないのか。	
96	適正化案		茨木市は近隣市と比べても保育料が高い。引き下げる検討をするのが本来のあり方ではないだろうか。	
97	適正化案		「次なる茨木へ」の次は何か。言っている事としている事が違うのではないか。国基準の75%に戻すと主張しているが70%、60%台の市町村もある。代々住める、集まる本当の意味の次なる茨木になることを望む。	
98	適正化案		隣接する市(箕面や高槻)では、3歳児のF5階層(年収1000万円程度以上)でも35000円程度。改正(案)の(3歳児)41500円は高すぎる。	
99	適正化案	北摂の中でも茨木市は保育料の水準が高いのにこれ以上負担が増えるのは反対。		

提出された意見等及び市の考え方(案)

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額の適正化(案)について

通番	項目	意見の概要		市の考え方
			意見の理由	
100	適正化案	適正化(案)に反対(無償化すべきである。引き下げるべきである。現状維持とすべきである。)	働く親たちが安心して大切な子どもを預けられるように、また子どもたちが元気に育つように保育料を値上げしないほしい。	
101	適正化案		子どもを生み、預けて働くという親の気持ちをそぐことになる。	
102	適正化案		これから結婚する予定もあり、夫婦2人働きながら子どもを育てていかなければならない。保育所も必ず入所させて欲しいし、値上げはやめてほしい。	
103	適正化案		親子供、いつまでも住みつづける茨木市に。子育て中の親も税金を払ってくれる人々、その子も将来、同様になるように。	
104	適正化案		子どもは社会が育てるべき。親が安心して働き続けるため、子どもたちの健全な成長をするためにも保育料は下げることがあっても上げることは絶対だめ。	
105	適正化案		子育て世代を応援するというなら、この値上げ計画はやめてほしい。	
106	適正化案		茨木市は子育てを支援しない方針なのか。少しでも安い保育料と安心して預けられる公立の保育所をもっと作り、待機児童をなくす市をめざしてほしい。	
107	適正化案		子育て世帯を少しでも応援してもらえるのではないのかと、がっかりしている。仕事をしながら子育てする親を支えてほしい。	
108	適正化案		仕事をしながら子育てをする保護者がすごしやすい社会を作ってほしい。	
109	適正化案		政府は働く母を増やす、少子化対策をするなど言ってるが、それと逆行している。	
110	適正化案		全国の自治体では、少子化を止める施策を考えている。	
111	適正化案		少子高齢化が国民的な大問題となって、子育てにもっと手厚い援助が必要という大きな世論がある。	
112	適正化案		我が国の諸問題の中で、最大の問題は、少子化の流れが止まらないこと。総額年9,200万円の負担増を強いることは、若い親たち、これから結婚、出産をしようとする若い市民に冷水をかけ希望を萎えさせる市政としか思えない。	
113	適正化案		未来ある子ども達を市として育てていきましょう。子育ては個々の親のためではありません。	
114	適正化案	少子化を克服するためには、子育て支援の充実が不可欠。保育所に入所している母親達は、子ども達を安心して預けることができる。そのことが働き続けること、そして第2子、第3子の出産へとつながっている。国の「幼児教育無償化」の動きも国民の声に敏感にこたえたもの。		

提出された意見等及び市の考え方(案)

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額の適正化(案)について

通番	項目	意見の概要		市の考え方
			意見の理由	
115	適正化案	適正化(案)に反対(無償化すべきである。引き下げるべきである。現状維持とすべきである。)	長野県の地方都市では独自に「保育料第2子無料化」など、子育て支援施策に力を入れた結果、子ども人口が増えたとニュースでしていた。茨木市も大型開発などのムダづかいはやめ、少子化を克服するために子育て支援政策のための予算を増やし、女性が安心して子どもを産み、働き続けられる環境を保護することを望む。	
116	適正化案		テレビを見ていると、保育料をなくし、子どもがふえている町の話が出ていた。子育て世代の親の負担を減らし、未来の明るい茨木市にしてほしい。	
117	適正化案		安心して働き続ける為、保育所に預けているが、もう少し保育所保育料を安くしてほしい。そうすれば少しでも少子化対策となると思う。	
118	適正化案		2017年も出生数が100万人に届かなかった。2年連続だと言われている。若いお母さんに聞くと子どもを育てるのにお金がかかるので2人、3人と欲しくても産めないと言われる。夫の賃金も上がらず、母親が働きに出る人が沢山いる。経済的な面だけでなく、女性の社会への進出が増えている中では保育所はなくてはならないところ。	
119	適正化案		値上げしないで、フランスのように手厚く子ども達を育成していくために、子どもを日本の国に人口増加できるように国の対策をすべき。	
120	適正化案		保育料は今でも高額を支払っている。これ以上、上げなければならぬ理由を明確にしてほしい。	
121	適正化案		何に使うかも明確にされて、私達保護者が納得出来る説明が欲しい。	
122	適正化案		適正化したことによる増収分の使い途を明確にしてほしい。	
123	適正化案		財源の見直しや負担増の与える影響についてもっと精査し、結論を出してほしい。いきなりの負担増は短絡的であり、その経緯、価値についてきちんと説明してほしい。	
124	適正化案		説明もないまま値上げするのはおかしい。	
125	適正化案		値上げ分の使い道がわからない。明確にして。	
126	適正化案		市民との話しあいを、関係者との話しあいを求める。パブコメでお茶をにごさないでほしい。	
127	適正化案	増加分が保育士等の待遇に反映されたり、保育園の保育や施設の充実に充てられるのならまだしもそうではないのなら、これ以上の負担増に反対。		

提出された意見等及び市の考え方(案)

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額の適正化(案)について

通番	項目	意見の概要		市の考え方
			意見の理由	
128	適正化案	適正化(案)に反対(無償化すべきである。引き下げるべきである。現状維持とすべきである。)	値上げした分、目に見えて何らかの保育の質の向上をまずは打ち出してもらえないと納得いかない。	
129	適正化案		設備や人員配置が大きく変わるなどの理由ならわかるが、そうでないのなら3,000～8,500円の値上がりは納得できない。	
130	適正化案		75%という数字にこだわることで市民に負担を強いていることをわかってほしい。	
131	適正化案		国の基準の75%というけれどもやっぱり上がるというのは納得いかない。	
132	適正化案		保育料はむしろ下げること考えるべき。国基準の75%を市の保育料として決めているようだが、近隣他市は70%あるいは73.5%など引き下げているところが多い。(高槻、吹田、摂津、箕面など)	
133	適正化案		保護者の立場になって考えてほしい。	
134	適正化案		増額理由の「国徴収基準額の75%」について信用できない。徴収額でみると、ここ10年は大きく変動していないはず。H26年に徴収制度が階層制へ大きく変更された。どうしてそのタイミングで適正化しなかったのか。従って、「国徴収基準額の75%」は後づけの理由で増額した理由は他にあるのではないか。	
135	適正化案		値上げにより、保育所入所への想いの萎縮を本市がもくろむものと誤解される。	
136	適正化案		保育料値上げは、茨木市にとって為政者の怠慢であると考え。福岡市政の弱者いじめに反対。市民の財源は、市民のために使うべき。	
137	適正化案		茨木市政に絶望しているので、今さら驚かないけれど、人々のなげきの声が聞こえないのかと思う。生活の苦しさの中で絶えている人々に寄りそう姿勢が欲しい。	
138	適正化案		パブリックコメントをしたから文句言わせないと思っているのではないか。今の市長は聞く耳を本当に持っているのか。	
139	適正化案		F4～F5の高所得者の割合が少ないことを鑑みても無償化になる前に共働き世帯(F2～F3)からとれるだけとっておこうということだとうけとった。茨木市は子育て世帯に厳しい市。	
140	適正化案		保育料が上がることによって市民の要望がかなうのか。	
141	適正化案		市の負担が増えているから、という理由では納得できない。それに見合ったこちらの思いも聞いてかなえて欲しい。	
142	適正化案	値上げされると辛い。その分更に働かないかと思ってしまう。値上げしてその分他で免除されたりするならばまだ許せるが。		

提出された意見等及び市の考え方(案)

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額の適正化(案)について

通番	項目	意見の概要		市の考え方
			意見の理由	
143	その他	その他意見	各保育所等の延長保育料を一律にしてほしい。 標準時間や短時間保育の設定なども始まっているが、延長保育料が高すぎる。 (1分～15分など)園によってもバラつきがあり、見直しをしていく必要があるのではないかと。	人件費等、保育に係る経費が施設により異なることから、これらを一律の金額に統一するという事は難しいと考えておりますが、これらの金額が適正なものとなるようチェック体制を強化してまいります。
144	その他		負担の階層区分をきめこまかく設定すべき。	階層区分間の段差については、課題であると認識しており、検討の必要性はあると考えておりますが、現在の条例及び規則における規定方法では、仮に、細分化した場合、階層区分によっては、利用者負担額が国徴収基準額の75%と乖離する部分が出るなど、整理すべき課題も大きく、階層区分の細分化については、どのような方法によるものが適正かも含め、検討してまいります。
145	その他		値上げがやむをえないとしたら、階層区分をもっと細かくするなどの配慮があつてしかるべき。	
146	その他		階層区分が大きいため、わずかな所得差で支払う保育料が大きな負担になる。階層区分をもっと細かくしてほしい。	
147	その他		階層区分が少なすぎると思う。F3～F5階層だとなんのために働いてあずかっているのかと思う時がある。	
148	その他		保育料負担の階層区分をもっときめ細かく設定すべき。茨木市の保育所保育料は国の基準をそのまま採用しているが、北摂他市では国基準をより細分化して階層区分間の保育料差を緩和している市もある。茨木市は14段階だが、箕面市は21段階にわかれている。	

提出された意見等及び市の考え方(案)

その他のご意見

通番	意見の概要
1	上に小学低学年の兄弟がいる3歳児F5階層の場合、保育枠なら41,500円となるが幼稚園枠なら9,600円、なぜこのような大きな差となるのか？
2	兄弟との年齢差により、保育料に大きな差があり不公平である。2人目半額等が適用される兄弟の年齢の拡大を検討すべき。
3	茨木市を住みやすい街にするには、子育て支援の政策に力を入れてほしい。
4	少子化の時代に若い子育て支援を手厚くしないと、茨木市の未来は発展しないと思う。次なる茨木へのスローガンに逆行していくのではないのかと思う。
5	こどもたちに平等な保育を受けさせてほしい。
6	経済情報をあきらかにして広く市民に周知、検討して下さい。
7	保育料が値上げになったとして、どのような財源に使われたかを明確にして欲しい。
8	市保健医療センターの夜間・休日の小児の急病診療所も2014年4月から閉鎖され、多くの方が復活を切望しています。こんな自治体は、周辺では茨木市だけ。子どもたちに冷たい市政を改めてほしい。
9	保育現場で働く人たちや、保護者の声、実態を知ってほしい。
10	政治家の給料を下げろ。弱いものいじめ。
11	働きやすい環境作りをお願いしたい。
12	茨木市は昔、保育所の保育料は受益者負担と言ひ、パートのお給料でもびっくりする程でした。(安い)その体質は今でも変わらないのでしょうか。しかも内容にしても国の方針をそのままおろしてきます。
13	待機児童保育室「みらい」はあまりにも「みらい」を担う子ども達に過酷すぎる。あの様な施設でのびのびとして豊かな子どもは育たない。庄保育所が民営化の失敗か、今空いていると聞いた。旧庄保育所へ「みらい」が利用したら絶対良いと思う。
14	西河原の待機児童保育所は可哀想。あれは保育設備の整った場所(例えば、元庄保育所)提供すべき。
15	未来の働き手、ささえ手の子ども達の育つ保育所は良い環境であるべき。清掃部や消防署の跡地では危険。ころんで頭を打ったら柔らかい頭部が悲鳴を上げる。床や壁、柱はぶつかっても大丈夫なものに。庄保育所があいている。是非生かしてほしい。
16	子育てに一定の安全性や行動の保障が必要。走り回るのが本来の子どもに危険な施設や狭い部屋や園庭のない施設はあるべきではない。(消防署、清掃局跡地の施設)
17	「未来」を庄保育所に移動してほしい。
18	保育料を上げる前に待機児童問題をどうにかしてほしい。

提出された意見等及び市の考え方(案)

その他のご意見

通番	意見の概要
19	希望する子どもが皆、保育園に入れるようにしてほしい。
20	子どもの数が減っていく中で、女性が安心して働き、子育てするために保育所は必要である。
21	保育所を増やしてほしい。
22	待機児童を無くす政策を充実してほしい。
23	保育の質を向上させてほしい。
24	公立の保育所はこれ以上は減らさないでほしい。公→私立になったが、公立の時のゆったりとした保育ではなくなったように思う。保育士の配置が違うのか。朝・夕の園庭遊びの時の先生が少ない。事故等の対応は大丈夫なのか心配になる。
25	茨木市の未来を担う子供たちを安全・安心に、そして豊かな保育内容を保障することは茨木市の豊かな発展のためにとっても大切なことである。
26	私立保育園も公立保育所並の人員配置になるよう市からの補助を増やし、保育料は今以上に上げないでほしい。
27	働く親たちのために、充実した機能をもつ保育所にしてほしい。こどもたちのためによりしく願います。
28	保育士の多重労働にかんしてもっと理解を深め、補助金を出し待遇改善すべき。子どもの発達、成長はただの子もりではない。
29	保育士の処遇改善をしてほしい。
30	本来なら子どもの育てるための事業に利益優先の民間移行はやってはいけないことだった。勿論国にも言えることであるが。(以前、幼、保、共民間に移行する時、私立園長が奇しくも言いました。「もうからないなら移行の話にのりません。」)子どもをもうけの対象にしてはいけない。真剣に国を担う子どもを育てるのは「公」が担うべき。
31	公設公営の保育所を建ててほしい。